

総合単元プログラムの開発

研究内容1

道徳的実践力を育むための総合単元プログラムの在り方

確かなる指導観(価値観・児童観・教材観)

道徳の時間の基本的な展開(補充・深化・統合)

研究内容2-(1)

主体的に価値追求していくための導入の工夫

導入(気付く)

価値の方向付け

研究内容2-(2)

多面的・多角的に道徳的価値を追求していく指導の工夫

考え、議論する場

◎多面的・多角的に考える

～「主体的・対話的で深い学び」に向かって～

教材範読

感想交流

発問1(場面発問)

人間理解・他者理解

発問2(場面発問)

価値理解・自己理解

発問3(テーマ発問)

～価値の内面的自覚・自己の生き方へ～

・発問・発問構成の工夫
・対話の仕方の工夫
(なりきりタイムの位置付け)

前段(深める)

研究内容2-(3)

主体的に自己を見つめやすくする工夫

自己の生き方についての考えを深める場

書く活動の位置付け～時間の保障・視点の明確化～

教師の説話

・総合単元プログラムノートの工夫など

後段(見つめる)

学級経営の充実

～多様な意見を受け止め、認め合える雰囲気作り～
話し方・聞き方指導の充実